

令和8年度熊本大学教育学研究科（教職大学院の課程）
教職実践開発専攻における入学者選抜方法等の変更について（予告）

令和7年5月16日
熊本大学

熊本大学大学院教育学研究科（教職大学院の課程）教職実践開発専攻では、令和8年度（令和7年度実施）入試から、募集人員及び選抜方法を以下のとおり変更します。

詳細は、令和7年度に公表する学生募集要項（6月中旬公表予定）で確認してください。

記

●募集人員・入学者選抜の内容等

<令和7年度入試まで>

入学者の選抜は、第1期募集、第2期募集とも「一般入試」及び「推薦入試」により実施します。

第2期募集後、募集人員を満たさなかった場合に限り追加募集を行います。実施する場合には本研究科ウェブサイトの「入試情報」(<https://www.educ.kumamoto-u.ac.jp>)にて事前にお知らせします。

専攻	コース	募集人員
		一般入試・推薦入試
教職実践開発専攻	学校教育実践高度化コース 【授業実践開発、生徒指導・教育相談、学級経営・学校経営、保健室経営】	30人
	教科教育実践高度化コース 【教科：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語】	
	特別支援教育実践高度化コース	
	教育の国際化実践高度化コース	
合計		30人

【推薦入試の出願要件】

一般入試の出願資格を満たしてかつ合格のうえは入学を確約する次のいずれかに該当する者

- (1) 現職教員のうち令和7年4月1日時点で6年以上の教職経験がある者で、所属機関の長等（学校長など）からの推薦を得られた者
- (2) 本教職大学院が連携する熊本県教育委員会又は熊本市教育委員会から推薦を得られた者（現職派遣教員）
- (3) 現職教員以外の者で、教員採用試験（1次）（令和5年度又は令和6年度に実施されたもの）に合格し、所属機関の長等（臨時採用先の学校長、在籍大学の学部長など）からの推薦を得られた者

※ 教員採用試験（2次）の合否結果は問いませんが、当該入試合格後の入学が確約できる者に限ります。

【一般入試の論述試験免除について】

・一般入試を受験する者のうち、3年以上の教職経験をもち、研究業績を有する現職教員等は、論述試験を免除することができます。

・現職教員以外で一般入試を受験する者のうち、令和5年度又は令和6年度に実施された教員採用試験（2次）に合格している者は論述試験の免除を申請することができます。



<令和8年度入試から>

入学者の選抜は、「一般入試」及び「推薦入試」により実施します。

なお、選抜方法・内容（論述試験・口述試験）及び配点については変更ありません。

専攻	コース	募集人員	
		一般入試	推薦入試
教職実践開発専攻	学校教育実践高度化コース 【授業実践開発、生徒指導・教育相談、学級経営・学校経営、保健室経営】	22	8
	教科教育実践高度化コース 【教科：国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語】		
	特別支援教育実践高度化コース		
	教育の国際化実践高度化コース		
合計		30人	

「一般入試」募集後、募集人員を満たさなかった場合に限り追加募集（第2期募集）を行います。実施する場合には熊本大学ウェブサイトの「大学院入試情報（教育学研究科）」

(<https://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/daigakuinnyushi/kyouikugaku>)にて事前にお知らせします。

【推薦入試の出願要件】

一般入試の出願資格を満たしてかつ合格のうへは入学を確約する次のいずれかに該当する者

- (1) 現職教員のうち令和8年4月1日時点で6年以上の教職経験がある者で、所属機関の長等（学校長など）からの推薦を得られた者
- (2) 本教職大学院が連携する熊本県教育委員会又は熊本市教育委員会から推薦を得られた者(現職派遣教員)

*一般入試の出願要件は変更ありません。

*「現職教員」とは、初等中等教育の諸学校(教育委員会、少年自然の家等の教育機関を含む。)に常勤の職員として勤務する者で現職のまま修学可能な者とします。なお、入学後に定年等退職予定の者も含まれます。

【一般入試の論述試験免除について】

論述試験免除を廃止します。

・令和8年度学生募集スケジュール（予定）

選抜方法	学生募集要項公表	出願期間	試験日	合格発表日
一般入試	令和7年 6月中旬	令和7年 7月下旬	令和7年 9月下旬	令和7年 10月中旬
推薦入試	令和7年 6月中旬	令和7年 10月下旬	令和7年 11月下旬	令和7年 12月中旬